

平成30年度総合文化センター自主事業一覧

1 質の高い舞台公演の実施「鑑賞系事業:本物の芸術文化に触れる機会を提供」(主催事業)

事業名	開催月日	曜日	会場	事業内容	入場者(人)
【室内楽】 iichiko presents ザ・クラリノッツ	6月26日	火	iichiko 音の泉ホール	世界の二大オーケストラであるベルリンフィルとウィーンフィルの首席クラリネット奏者であるオッテンザマー兄弟による演奏会。完璧なテクニックと美しい音色から紡ぎ出されるクラリネットの世界に観客は魅了された。ピアニストを加えた若い三人が仲良く、アットホームな雰囲気を作り出し、お客様もノリノリ。「こんな美しく、楽しいコンサートはない」と好評価を多くいただいた。	486
【吹奏楽】 吹奏楽塾2018 東京佼成ウインドオーケストラ演奏会	6月30日	日	iichiko グランシアタ	「吹奏楽塾2018」と銘打ち、プロの吹奏楽団の演奏会を基軸に、1か月前の事前レッスン、学校へのお出かけレッスン、リハーサル聴講、合同演奏への出演、アフター講習会と楽器奏者向けの企画も多く盛り込み、団員の熱心な対応もあって、参加者から高い評価をいただいた。特に、選抜メンバーは憧れの東京佼成メンバーとステージ上で2曲合同演奏を行い、今回はソロも多く、実り多い演奏となった。参加者にとっては充実した企画となった。	969
【伝統芸能】 iichiko presents 松竹大歌舞伎大分公演 中村芝翫襲名披露公演	7月23日	月	iichiko グランシアタ	毎年根強い人気のある歌舞伎公演で、今年は中村芝翫三代襲名披露公演で注目を集めた。前半は「人情噺文七元結」で、中村芝翫演じる左官長兵衛を中心とした笑いあり涙あり、江戸っ子の人情味あふれる世話物で楽しんだ。袴姿の幹部役者が舞台に並んだ襲名披露の口上をはさんで、後半は狂言を舞踊にした「棒しばり」で、若手の中村橋之助・福之助が縛られたままお酒を盗み飲む様をコミカルに軽快な踊りで表現し、会場が大いに盛り上がった。また、iichikoシートとして中高生94人を招待し、古典芸能に対する興味と知識を深めた。	昼:902 夜:494
【総合】 ワンコインリレーコンサート	9月3日	月	iichiko 音の泉ホール	実力のある素晴らしい演奏家たちの音や技を低価格(500円)で楽しんでもらい、芸術文化の素晴らしさを気軽に感じてもらうコンサート。今年は、昼夜2公演で内容を変えて楽しんでいただいた。Jazzの鈴木良雄スペシャルトリオの演奏で、昼は高齢者や乳児連れのお母さんが、夜は会社帰りのサラリーマンが多かった。ベテラン3人のジャズライブ。スタンダードナンバーで構成されたプログラムが好評で、曲間のおしゃべりも雰囲気よく、アットホームなコンサートであった。	昼:376 夜:615
【オペラ】 ニッセイ名作劇場 オペラ「魔笛」大分公演	9月20日	木	iichiko グランシアタ	日生劇場との提携公演で、オペラ「魔笛」の公演を県内中高生を無料招待し鑑賞してもらう事業。東京公演をそっくりそのまま持ってきた舞台で、生の歌声、生のオーケストラ、場面で転換する舞台装置や照明など、興味を持ったとする感想も多かった。一方、オペラを観るのが初めての生徒も多く、一部マナーの悪い者もいた。	1,700
【オペラ】 オペラ「アイーダ」	10月28日	日	iichiko グランシアタ	今年度最大の事業として、札幌、神奈川、兵庫等との共同制作公演。ローマ歌劇場との提携公演で、指揮にアンドレア・バッティスターニ氏を迎え、衣装・照明・舞台装置も同歌劇場のプロダクションで上演するもので、ヴェルディオペラの本場であるイタリアの豪華でスペクタクルな内容であった。出演は、東京二期会等の歌唱力・演技力ともに優れた実力派歌手陣が努め、特に、芸短大出身でアイーダ役の木下美穂子は見事であり、満員の観客から絶賛を浴びた。「アイーダ」は、オーケストラ、歌手とも大人数で構成され、加えて音楽的に非常に高度な技術を要求されることから、地方都市での上演は稀であり、共同制作事業でなければ実現できない公演であった。	1,702
【ミュージカル】 マイ・フェア・レディ	10月31日 11月1日	水 木	iichiko グランシアタ	日本で最初に演じられたミュージカルが、新たなプリンセスを迎え、新たな演出で生まれ変わった。神田沙也加、朝夏まなとのダブルキャストで、人気を博した。耳に馴染んだ『君住む街角』などのナンバー、華麗でキレのあるダンスシーン、コミカルなやりとりを交えた芝居と見所満載であった。現代に即した台詞、演出に生まれ代わったスタッフの意図と、初々しいヒロインとバックをベテランがかためたキャストが一緒になった素晴らしいステージが大分にやってきた。満員のお客様が総立ちで鳴り止まないカーテンコールが、本公演の価値を十二分に示していた。	10/31:1,917 11/1:1,867
【室内楽】 iichiko presents 小林道夫 チェンバロリサイタル 第二章	12月3日	月	iichiko 音の泉ホール	バロック音楽に造詣が深く、バッハ演奏においては最高の評価を得る音楽家・小林道夫氏(由布院在住)。当劇場所有の優雅で繊細な音色が特徴的なイタリア製チェンバロを用いて、2年目は「J.S.バッハ作曲『フランス組曲』」の全曲演奏に挑みました。全6曲の優雅で気品のある名曲を先生の長年の研究に裏打ちされた解釈で演奏され、バロック時代の舞曲の世界に聴衆はすっかり引き込まれた。	301
【室内楽】 iichiko presents ベートーベン 弦楽四重奏全曲演奏会 第3夜 ウェールズ弦楽四重奏団	1月16日	水	iichiko 音の泉ホール	若手実力者4人組のウェールズ弦楽四重奏団によるベートーヴェン・ツィクルスの3回目、折り返し地点に当たる演奏会。今回は中期1曲、後期1曲の内容の濃い演奏で、特に15番は、第3楽章をベートーヴェン本人が「神の聖なる感謝の歌」と呼んだように、聴く者を天上へと誘うがごとくアンサンブルであった。iichikoシートとして留学生を招待したこともあって、若者も見受けられる活気のあるコンサートとなった。	254

【ミュージカル】 ファミリーミュージカル「魔法をすてたマジョリン」 劇団四季	2月9日	土	iichiko グランシアタ	定評のある劇団四季が公演する家族対象のミュージカルで、大人も子どもも夢中にさせる内容に、詰めかけた家族連れが満足気であった。魔法のマジョリンが繰り広げる物語で、不思議な力を使いながら、思いやる心、愛すること、信じることの大切さを教えてくれる舞台であった。歌とダンスに心躍らせ、役者と一緒になって唄ったり、応援したりと大きく盛り上がった。	1,607
【オーケストラ】 iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ 第10回定期演奏会	3月30日	土	iichiko グランシアタ	ホール付きのオーケストラとして2009年4月に結成され、今回10回目の定期演奏会で節目を迎えた。総勢73人、小学校4年生から大学生までのメンバーが、1年間積み重ねてきた練習の成果を披露した。指揮者の下野竜也氏は、国内外の主要オーケストラと共演を重ね人気実力のある方で、当団とも第1回、第5回に続き3回目で、団の成長を見届けていただける存在である。子どもたちに分かりやすい指導でダイナミックな指揮で観客にも好評であった。アカデミー生のロビーコンサートから始まり、オーケストラの演奏では、初めてブラームスに挑戦で交響曲第2番を演奏し、技術的にもかなり難しく苦労したが、本番では大きな成果として素晴らしいものとなった。	981

2 質の高い舞台公演の実施「鑑賞系事業:本物の芸術文化に触れる機会を提供」(共催事業)

事業名	開催月日	曜日	会場	事業内容	入場者(人)
第20回別府アルゲリッチ音楽祭 ・子どもによる子どものためのコンサート ・室内楽コンサート (主催:公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団)	5月24日 5月25日	木 金	iichiko 音の泉ホール iichiko グランシアタ	水戸室内管弦楽団員の指導を受けたジュニア・オーケストラが、モーツァルト作曲:交響曲第40番と同作曲:アイネ・クライネ・ナハトムジークを演奏。今年は管楽器も加わり、指導を受け楽曲の表情が豊かになり、大人顔負けの素晴らしい演奏となった。子ども中心の観客も聴き入っていた。アルゲリッチと水戸室内管弦楽団の共演で、注目を集めた演奏会。県内外から多くの観客が詰めかけた。水戸室内管弦楽団メンバーによる演奏3曲の後、アルゲリッチとTpのナカリヤコフが登場し、ショスタコーヴィチ作曲ピアノ協奏曲第1番の演奏に聴衆は酔いしれた。	269 1,747
松山バレエ団 チャイコフスキー くるみ割り人形 (主催:OBS大分放送)	6月10日	日	iichiko グランシアタ	森下洋子率いる松山バレエ団が贈る大分独自のスペシャルバージョンのくるみ割り人形公演であった。華やかで豪華なステージで、世界が認めるプリマ森下洋子を中心に、バックダンサーの一条乱れない群舞を伴い、クリスマスの一夜が描かれた。多くのバレエファンから惜しみない拍手が贈られた。	1,390
NHK交響楽団演奏会 大分公演 (主催:NHK大分放送局)	7月8日	日	iichiko グランシアタ	日本最高級のオーケストラ公演で、ベテラン指揮者のフェドセーエフとチェロにタチアナ・ヴァシリエヴァを迎え、曲目もオール・ロシアプログラムであった。N響の大分公演は久しぶりで、多くのファンが集まった。巨匠に率いられたオーケストラは、遺憾なく本領を発揮し多くの聴衆を魅了した。	1,432
ジブリの思い出がいっぱい ～オーケストラによるドリームコンサート (主催:大分合同新聞社)	8月24日	金	iichiko グランシアタ	「となりのトトロ」や「崖の上のポニョ」といったジブリ映画の名曲をオーケストラ演奏と男1人女4人のジブリーズの歌で楽しんでいただくコンサート。加えて、声優の島本須美さんが名場面を台詞で再現した。お馴染みのメロディーが満載で、ジブリファンをはじめ、家族連れが多く集まり、夏休みのひとときを楽しんだ。	1,300
THE PIANIST ! ファジル・サイ×辻井伸行×レ・フレール (主催:OBS大分放送)	9月9日	日	iichiko グランシアタ	ファジル・サイ×辻井伸行×レ・フレールという今人気絶頂の3組のピアニストが次々と登場したコンサート。3組とも自作の曲を中心とした個性的な演奏で、超満員の聴衆が大きく湧いた。	1,910
SONG&DANCE65 (主催:劇団四季)	9月28日	金	iichiko グランシアタ	ミュージカルの名曲や華やかなダンスシーンをぎっしり詰め込んだ企画。お馴染みのナンバーはもちろん、新しい話題作もオリジナルアレンジで仕立てた。加えて、情熱的なフラメンコやマリリンバ演奏を取り入れたり、驚きの演出も満載であった。お客様も次々に展開される舞台に魅了された様子であった。	1,389
第33回国民文化祭・おおいた2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会 洋舞踊の祭典 (主催:大分県洋舞踊連盟)	10月21日	日	iichiko グランシアタ	「咲き誇る洋舞の花々 美の饗宴つづく」をテーマに、全国の洋舞に恋しているダンサーが集い、優雅で独創性豊かなステージをくり広げた。第1部は、大分県出身の穴井豪が演出・振付した創作ダンスステージ、第2部は全国6県から参加した団体のステージ、第3部は「花園」と題したおおいた洋舞連盟のステージで締めくくった。	1,500
第33回国民文化祭・おおいた2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会 オーケストラと合唱の祭典 (主催:オーケストラと合唱の祭典実行委員会)	11月4日	日	iichiko グランシアタ	「届け!大分の大地から全国へ 響け!復活のハーモニー」をテーマに、『大地讃頌』やマーラー作曲交響曲第2番『復活』をはじめとする今回のコンサートを通じて、大分の、全国の被災者へ励ましのメッセージを送ることができた。全国から参加者が集まりました。第一部は青少年の部で、iichikoグランシアタジュニアオーケストラとアルカスSASEBOジュニアオーケストラを中心にした管弦楽129人と県内中高生による合唱193人が演奏した。第二部は一般の部で、全国公募による43団体169人による管弦楽と合唱179人が演奏した。今回、一般とジュニアが合同で企画し、小学生から高齢者まで幅広い年代層の参加となった。	1,241

第33回国民文化祭・おおいた2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会 日本舞踊の祭典 (主催: 日本舞踊の祭典実行委員会)	11月11日	日	iichiko グランシアタ	全国から参加する日本舞踊団体による作品、大分県日本舞踊連盟が本公演のために創作した舞踊劇『恋慕 由布の為朝』、子どもや障がいのある方が出演する作品など多彩で華やかな舞台を披露した。	1,100
第33回国民文化祭・おおいた2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会 オペラの祭典 (主催: オペラの祭典実行委員会)	11月17日	土	iichiko グランシアタ	「イタリアの愛と情熱」をテーマしたオペラコンサートを開催。第一部は、モンテヴェルディ作曲「ポッペアの戴冠」で、三代目市川右團次原案による和と洋を融合した形式のオペラ・ハイライトを上演した。第二部は、ガラコンサートで、「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」など様々な時代のイタリアオペラの名曲をたどった。	850
第42回大分第九の夕べ (主催: NPO法人おおいた第九を歌う会)	12月16日	日	iichiko グランシアタ	オーケストラ: 九州交響楽団、指揮: 山下一史、ソロ歌手4人は佐藤美枝子さん(ソプラノ)をはじめとする、ほぼ大分出身者による豪華な顔ぶれで、合唱は40年余り活動が続けてきた「おおいた第九を歌う会」が担ったコンサート。年末の恒例となっている「第九」を、160人もの大合唱団で歌い上げ、会場は大きな拍手で応えていた。	1,482
佐渡裕指揮日本センチュリー交響楽団with反田恭平 (主催: TOSテレビ大分)	2月21日	木	iichiko グランシアタ	今最強のコンビによるコンサートで、白熱のステージに満員の客席は酔いしれた。世界的に活躍する指揮者佐渡と若手一番の成長株であるピアニスト反田の注目のコンビで、多くの観客が詰めかけた。佐渡は関西の出身で、修業時代から縁があり手兵とも言える日本センチュリー交響楽団を率いて、演奏曲目も反田のテクニックを十分に発揮できるラフマニノフのピアノ協奏曲と佐渡が得意とし観客にもお馴染みの新世界交響曲で、演奏も期待以上のもので、万雷の拍手に迎えられた。	1,858
大分県立芸術文化短期大学事業 (主催: 大分県立芸術文化短期大学)	通年	—	iichiko 音の泉ホール iichiko グランシアタ	県立芸術文化短期大学が主催する定期演奏会、修了・卒業演奏会、音楽科コンサートシリーズ等の演奏会を開催した。	—

3 人材育成事業「普及啓発事業: 人を育て活かす」(主催事業)

事業名	開催月日	曜日	会場	事業内容	入場者、参加者(人)
吹奏楽塾2018	5月26日 6月29日 6月30日	土 金 土	リハーサル室 日出中学校 グランシアタ など	「吹奏楽塾2018」と銘打って、東京佼成ウインドオーケストラ演奏会を中心に、吹奏楽愛好者を対象に各種事業を行った。 ①5月26日、第1限目として、6月30日に実施される東京佼成ウインドオーケストラ(TKO)との合同演奏に向けて、各楽器ごとに分かれてレッスンを受けた。今回は、指揮者の大井剛史氏を始めTKOのプロ奏者12人が来県し、集まった中高生を中心とした受講生に対して、熱い指導が行われた。 ②6月29日、第2限目として、翌日に実施されるTKOの指揮者: 大井剛史氏とSAX奏者: 田中靖人氏が両中学校吹奏楽部を訪れ、コンクール課題曲を実演指導した。生徒から歓待を受け、憧れの演奏者による指導も、具体的、的確な内容で、高い評価をいただいた。 ③6月30日、3時限目として、午前中、選抜メンバーがステージ上でTKOメンバーと合同リハーサルを行い、他のチケット購入者はこのリハーサルを客席から見学した。 ④4時限目は、午後、本公演鑑賞で、選抜メンバーは憧れのTKOメンバーと2曲合同演奏した。今回は、ソロも多く、実り多い演奏となった。 ⑤5時限目は、演奏会終了後、各楽器パートごとに分かれてアフター相談会を実施した。楽器奏法や課題曲の解釈など幅広い質問に、丁寧に熱心に答えていただいた。参加者にとっては充実した一日となった。	①: 70 ②: 160 ③④⑤: 969
もっと楽しむための 歌舞伎レクチャー	6月2日	土	映像小ホール	毎年、人気の講座である。講師の葛西聖司(古典芸能解説者)氏が動画、写真を交えてわかりやすく、軽妙な語り口で、今回の演目「人情断文七元結」と「棒しばり」の解説が行われた。豊富な知識に裏付けられ、登場人物の設定や素性など基本的な事項から実際の場面に応じた的確な見所指南などが行われた。また、今回は三代襲名披露の口上も行われることで、屋号や紋などの解説もあった。	①74 ②40

アトリエ遊園地	7月1日	土	アトリウム	「ARTS(音楽と美術)が生み出すキッズパーク」を合い言葉に、アトリウムプラザ全体を会場に実施し、親子連れが集まり、大盛況であった。ステージでは、ジュニアオケの演奏やミュージカル体験、おおい大茶会ステージなどが展開された。周りでは、手作りおもちゃコーナー(別大短大部)、ものづくり教室(大分大技術専修)、ピアノやヴァイオリンなどの楽器体験コーナー、美術館企画の「UFOツアー～宇宙の果てまで飛んでゆけ」にも、多くの人が詰めかけた。《国民文化祭100日前イベントとして実施》	(約)2,000
音楽と科学レクチャー #3 録音から探る！iichiko音の泉ホールの響き	9月11日	火	音の泉ホール	講師：大鶴徹(大分大学理工学部教授)、亀川徹(東京藝術大学音楽学部教授) 演奏：原田哲男(チェロ) 音の響きのよさで定評のあるiichiko音の泉ホールで、実際にチェロの演奏を録音し、その場で聴いてもらった。マイクで録る位置や高さを変えて、奏者がどんな音を聴いているか、近い席と遠い席でどう異なるか、直接音と残響音がどうミックスされているかなど、技術的な解説も交えて体感してもらった。	116
オペラ『アイダ』レクチャー ①オペラ『アイダ』を楽しもう (大分県立図書館共催企画) ②喫茶 アイダ ③オペラ『アイダ』名場面見比べ大会	9月22日 10月7日 10月13日	火 木 木	県立図書館 視聴覚ホール 映像小ホール 映像小ホール	オペラ「アイダ」に関するレクチャー ① 県立図書館と連携して、オペラの啓発講座を職員が講師となり実施した。オペラの基本的知識から始まって、今回上演される「アイダ」の登場人物やあらすじ、見所、オペラの楽しみ方まで具体的に写真やビデオも交えながら話を行った。 ② 中山欽吾館長を講師に、コーヒー&ケーキをいただきながら、気軽に参加してもらったための取組。館長から、主役のアイダを演じる木下美穂子(芸短大卒業)さんの裏話を聞くなど盛り上がりました。公演に向けて、期待が膨らんできました。 ③ オペラは演出によって全く異なる舞台となることから、DVDで見比べる企画。音楽は同じでも異なる演出の公演をDVDで、例えば第2幕2場の凱旋の場面を3種類見比べた。作曲家や演出家の意図を解説しながら、違いを楽しんでもらった。	①60 ②28 ③32
ミュージカル「マイフェアレディ」 特別体験ワークショップ	7月～10月		リハーサル室 など	ミュージカル「マイ・フェア・レディ」全国大千秋楽公演前の本物のセット&生オーケストラでのステージを目指して、同ミュージカルナンバーを歌って踊るためのワークショップを実施した。振付、歌唱指導の講師は、東宝でミュージカル制作を担当している一線級を招いた。参加希望者も殺到し、充実した内容のレッスンは4か月に渡って行われた。参加者110人は、11月1日の本公演前のステージを借りて、本番どおりの舞台セット・照明にオーケストラの生演奏で、『教会へは遅れずに』を唄って、踊った。300人余りのお客様に加え、プロの本番ステージ出演者が客席で見守る中で、熱のこもった演技で、大きな拍手をいただき、達成感を味わった。	110
小林道夫チェンバロリサイタル 事前レクチャー 『小林道夫と探る舞曲のたのしみ』	11月2日	金	リハーサル室	小林道夫先生が、今回演奏する『イギリス組曲』について、実際にチェンバロを演奏しながら解説を行った。この曲は、各種の舞曲から構成されていることから、当時踊られていたバロックダンスの映像を折り込みながら解説され、曲の理解が高まった。	85
ベートーヴェン弦楽四重奏レクチャー ①ホイリゲ ベートーヴェン ②喫茶 ベートーヴェン ③ベートーヴェン映画鑑賞会	11月30日 12月23日 1月5日	金 金 土	eat TO DINING ROGIC BAR HALL 映像小ホール	ベートーヴェン弦楽四重奏のレクチャー ① ベートーヴェンも親しんだホイリゲ(ワイン居酒屋)にちなんで、お酒を楽しみながら学ぶ会を開催した。 ② 中山館長が喫茶店のマスターとなって、おいしいコーヒーとケーキを楽しみながら、ベートーヴェンのこと、室内楽のこと、ウェールズ弦楽四重奏団のことなどを学ぶ会となった。 ③ ベートーヴェンを題材にした映画『敬愛なるベートーヴェン』を上映。フィクションであるものの、ベートーヴェンの心の葛藤を描いたもので、彼の音楽に向かい合う心情が理解できる作品であるとともに、今回演奏する弦楽四重奏曲第15番の曲想を伝える場面が出てくる。	①12 ②28 ③44
もっと楽しむための 歌舞伎レクチャー	3月2日	土	映像小ホール	次年度4月開催の松竹大歌舞伎(松本白鸚、松本幸四郎 襲名披露公演)のレクチャー 毎年、人気の講座である。講師の葛西聖司(古典芸能解説者)さんが動画、写真を交えてわかりやすく、軽妙な語り口で、今回の演目「菅原伝授手習鑑」と「奴道成寺」の解説が行われた。また、江戸時代から続く松本家、市川家の家系の説明もあった。豊富な知識に裏付けられ、登場人物の設定や素性など基本的な事項から実際の場面に応じた的確な見所指図が行われた。	①82 ②69
ミュージカル体験ワークショップ	3月26～30日 3月31日	日	リハーサル室 アトリウム	9年目を迎え、ブロードウェイミュージカルのナンバーを歌って踊る体験ワークショップが、小学生、中高大学生、一般の3部に分け計140人が参加し、小さな世界やダンシングクイーンなどを演目に、岡崎先生の歌唱指導、野口先生の振付指導が行われた。3月26～30日に稽古、31日にアトリウムでの発表会を行った。小学生を中心に関心が高く、発表会でも多くの観客が詰めかけた。	140

<p>お出かけクラシック・コンサート 『しあわせアートストーリー』</p>	<p>(1) 6月21日 (2) 7月 1日 (3) 7月 5日 (4) 7月10日 (5) 7月12日 (6) 8月 4日 (7) 8月22日 (8) 8月29日 (9) 9月 4日 (10) 9月28日 (11)11月26日 (12)12月 7日 (13) 1月10日 (14) 2月25日 (15) 3月13日 (16) 3月14日</p>	<p>各学校・施設</p>	<p>日頃クラシック音楽に触れることの少ない人々に、オーディションを通過し、研修を終えた大分県にゆかりのある若手演奏家を派遣し、生のクラシック音楽とその魅力をお届けした。</p> <p>(1) 別府市／高齢者ケアセンター「茶寿苑」 (2) 大分市／アトリウム遊園地(総合文化センター) (3) 国東市／国東中学校 (4) 宇佐市／柳ヶ浦小学校 (5) 竹田市久住町／養護老人ホーム「南山荘」 (6) 大分市／たなばたエクスプレス(総合文化センター) (7) 大分市／小野鶴新町公民館 (8) 大分市／株式会社オルゴ (9) 大分市／避難訓練コンサート(総合文化センター) (10) 豊後高田市／香々地中学校 (11) 臼杵市／海辺小学校 (12) 国東市／武蔵中学校 (13) 大分市野津原町／野津原公民館 (14) 宇佐市安心院町／深見小学校 (15) 日田市／東有田公民館 (16) 大分市／コンパルホール</p>	<p>(1) 50 (2) - (3) 80 (4) 30 (5) 50 (6) - (7) 45 (8) 50 (9) - (10) 63 (11) 108 (12) 53 (13) 59 (14) 35 (15) 24 (16) 62</p> <p>合計 709人</p>
<p>エモスタッフ育成事業</p>	<p>通年</p>	<p>iichiko グランシァタ 他</p>	<p>ホールボランティアとしての「emoスタッフ」について、第14期(平成29～30年度)に今年度新たに追加募集し、18人が加わり総勢48人となった。新人研修は、6月14～16日の3日間、東京から角屋里子講師を呼び基礎から近年必要になっている災害対応や障害者対応まで、幅広い内容で行った。以後、財団が主催・共催する公演等を中心に、レセプションistとして活動した。特に、国民文化祭関係事業で例年以上に多くの活動を行った。その他、学生にレセプションist活動を指導するほか、福岡のホール視察やオーケストラやオペラ、室内楽の勉強会を開催したり、オペラやミュージカルのリハーサルを視察するなど、多面的なスキルアップを図った。</p>	<p>48</p>